

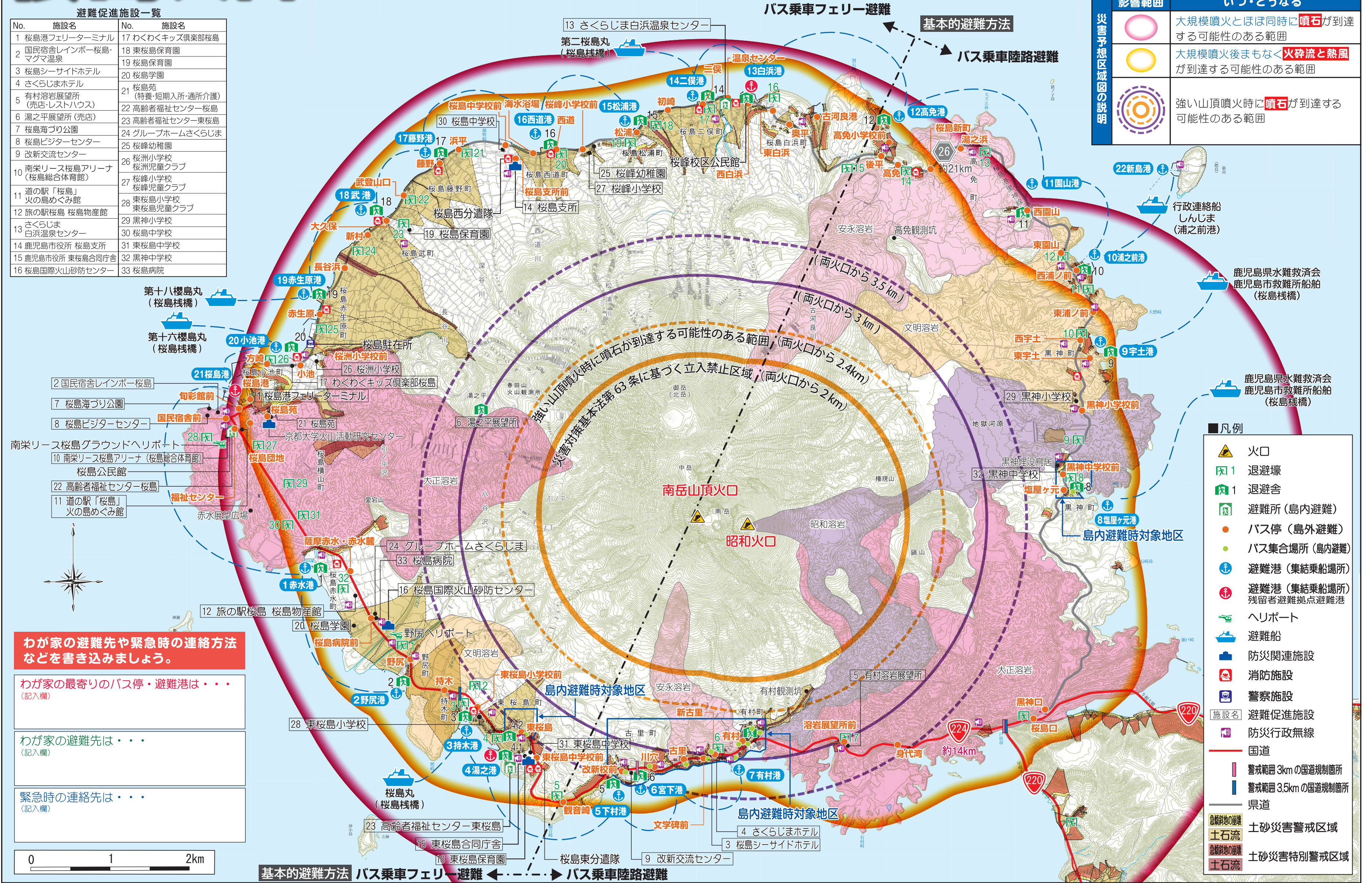
桜島火山ハザードマップ

マップ作成の目的

この桜島火山ハザードマップは、住民の皆様が桜島の過去の大規模噴火の状況や今後の火山災害の危険性を事前に把握し、日頃の備えや緊急時の速やかな避難に役立てていただくために作成したものです。日頃から目に付くところに掲示してください。地域の皆様で緊急時の行動を話し合い、前兆現象や噴火状況に注意しましょう。

マップ外国語版 (英語・韓国語・簡体字・繁体字)

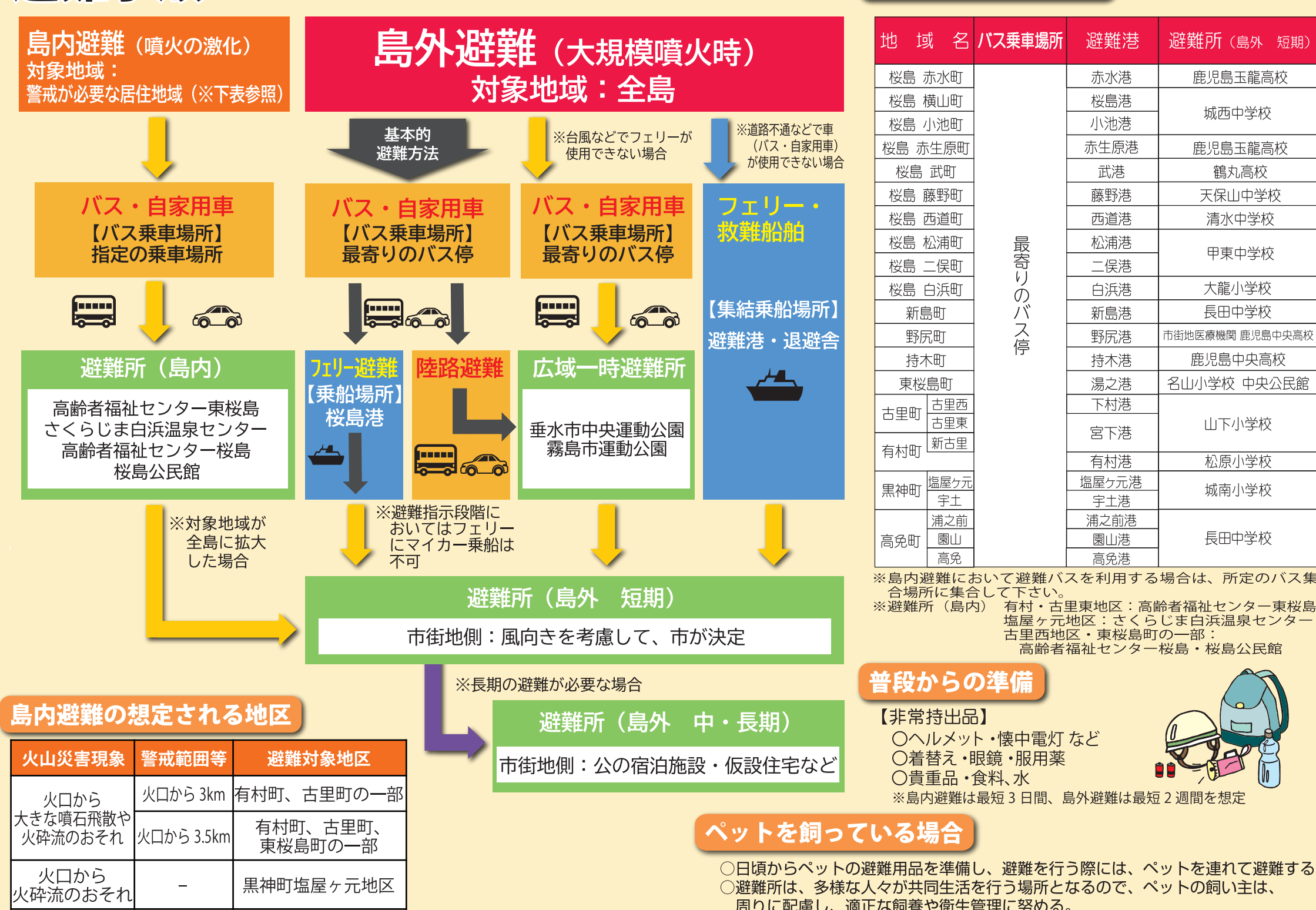
Sakurajima Volcano Hazard Map
사쿠라지마 화산 해지드맵
櫻島火山防災地圖
櫻島火山防災地圖



噴火警戒レベルと防災対応

レベル	火山活動の状況	市が発令する避難情報	住民等の行動	避難対象者
噴火警戒 (居住地域)				
5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	避難指示	危険な居住地域からの避難等が必要。	全員
4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される (可能性が高まってきている)。	高齢者等避難	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	高齢者等の避難に時間のかかる方 (※その他の住民は避難の準備)
3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	※避難が必要となる噴火警戒レベル引上げ時には、気象庁から「噴火警戒 (居住地域)」が発表され、その内容は市からもお知らせします。 ※「噴火警戒 (居住地域)」に示された警戒範囲内の住民等は、避難情報が発令される可能性が高いため、非常持出品の準備など避難に備え、鹿児島市からの情報に注意してください。 ※市の発令は、緊急速報メール、防災行政無線、消防車両、テレビ・ラジオ、SNS 等でお知らせします。 ※通常は、噴火警戒レベル3 (入山規制)「住民は通常の生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。登山禁止や入山規制等、危険な地域への立入規制等」となっています。		
2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。			
1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。			

避難手順



桜島の火山災害現象

噴石	噴火時に岩の破片や軽石が火口から飛び散ります。とくに火口から数kmの範囲に多く飛び、時には直径1m以上の大きな石が飛んでくることもあります。	火砕流	数百度の岩石、火山灰やガスが混じり、時速100km以上で斜面を流れ下ります。
溶岩流	マグマが火口からあふれて、斜面を流れ下ります。速度は遅いが、通り道は溶岩に焼きつくされ、埋もれてしまいます。(写真は1986年伊豆大島)	土石流	山の斜面に火山灰が積もると、その後の雨によって発生しやすくなります。
降灰	火山灰が風に流されて降り積もり、また、大正噴火では火口から半径15km以内に厚さ1m以上堆積したことが記録されています。 ※降灰堆積厚さごとの影響の目安 (堆積厚さが数cm以下でも様々な影響があります) 30-45cm: 湿潤時、木造家屋が倒壊する可能性があります。 45-60cm: 乾燥時、木造家屋が倒壊する可能性があります。	地震	大規模噴火に伴い鹿児島市及び周辺地域で震度6程度の強い地震が起きる可能性があります。

過去の大噴火の概要と近年の主な噴火活動

溶岩流下範囲	文明噴火 安永噴火 大正噴火 昭和噴火
文明噴火 文明8年(1476年)	1471年に北東側から溶岩流出、大嶺崎(黒神)を形成。1476年に大爆発、南西側から溶岩流出、燃崎(野尻)を形成。
安永噴火 安永8年(1779年)	南側・北東側の山腹から噴火、溶岩流出。死者148名。北東で海底噴火、新島等を形成。
大正噴火 大正3年(1914年)	西側・東側の両山腹から噴火。流出溶岩により、大隅半島と陸続きに。火山灰はカムチャツカ半島、小笠原諸島に達した。薩摩半島で震度6弱の大地震発生。死者・行方不明者58名。
昭和噴火 昭和21年(1946年)	東側(昭和火口)から噴火。流出した溶岩は黒神・有村の海岸まで達した。死者1名。
昭和30年(1955年)以降の噴火	2006～2017年は昭和火口において噴火。南岳山頂火口からの噴火は継続中。大きな噴石が集落に落下する事象のほか、火山灰、レキ、土石流の被害も多い。

○桜島では、大規模噴火のたびに新たな火口が発生し、溶岩流の流下範囲も異なっています。
火口は山頂を挟んだ両山腹にできる可能性が高いとされています。
○大規模な噴火が発生した場合、島内全域にわたって危険な状態になることが予想されますので、避難情報に従って、大規模噴火が始まる前に島外に避難することが重要です。
また風向きによっては、市街地側にも大量の降灰が降る可能性がありますので、気象情報にも十分気を付けて避難に備えてください。

前兆現象

異常現象があれば、通報先に連絡を。

- 地震を一日に何度も感じる
- 地鳴りがする
- 井戸水、温泉の水位や温度などがいつもと違う
- 新しい噴気、地温の上昇、地割れ
- 草木の立ち枯れ など

主な防災情報の入手方法

○気象・噴火情報の入手方法等についてまとめています。

PC・スマートフォンから
鹿児島市 気象・噴火情報リンク
このマップに関するお問い合わせ先 鹿児島市危機管理課 TEL 099-216-1513 令和5年6月発行